

‘03 夏合宿報告書

南アルプス 甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳

’03 8.10 ~ 8.11

CL 鈴木, 藤田, 竹内
芦田



仙丈カール

デンソ - 山岳部

【春合宿を振り返り】

(計画) 北沢峠ベースに甲斐駒、仙丈ヶ岳往復のコースに設定したが、新人の参加も考慮し無理のない計画で進めることができたと思う。

(行動) 合宿初日は台風10号の通過直後であり、好天に恵まれ、間近に中央アルプス、遠くに北アルプスを望むことができ、充実した山行となった。
2日目は藪沢より仙丈ヶ岳登頂の予定であったが、藪沢の雪渓にスノーブリッジがあるとの情報があり小仙丈経由の往復に変更した。雲の多い天候であったが、稜線歩きを楽しむことができた。
今回はメンバー各自体調もよく、安定したペースで行動することができた。

(食糧) 今回は北沢峠ベースの為、重量をあまり気にする必要もなく、メニューも普段の合宿より充実した食事であった。

(装備) 今回4~5人用のテントを1張持っていったが、冬用であった。
雨は降らなかったのが問題は無かったが、防水性、通気性が悪い為、今後間違えないように気をつけたい。
コンロはコールマンを1台持って行ったが、使用上特に問題は無かった。
夏であり燃料は0.5L程度で済んだ。

最後に、合宿にご協力頂いた留守部員の皆様をはじめ、差入れを頂いた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。
(CL. 鈴木 記)

【8月11日(月)】 曇りのち晴

- ・ 5:00 テン場出発 (長兵衛小屋)
- ・ 6:00 (2350m)
- ・ 6:40 5合目分岐
- ・ 7:55 小仙丈岳
- ・ 9:05 仙丈岳
- ・ 11:15 5合目
- ・ 12:30 長兵衛小屋

午前3時30分起床、朝食のラーメンを食べ腹ごしらえをした後、出発の準備をする。霧雨の中をカッパを着て出発するが、20分程歩いたところで霧雨があがり、カッパを脱ぎ、再び歩き始めた。樹林の中、緩やかな傾斜を登って行く。やがて稜線に出た。そこは2合目である。さらに樹林の中を進み、出発から1ピッチ半で5合目に到着、さらに30分程歩くと6合目に到着した。展望がよく小仙丈岳が目の前に見えている。ここからは樹林は消えてハイマツ帯の稜線に

なる。ここから小仙丈岳まで1ピッチである。急登を登って行く。そして、ここまでくれば、仙丈岳は近い。さらに頂上近くになると、右下に藪沢カールを見ながら頂上を目指す。展望は雲に囲まれているようで、あまり期待できない。そして、出発から4時間ほどで頂上に到着である。そこは、たくさんの人で賑わっている。しばらく休憩していたら突然雷鳥が姿を現した。何人かの登山者がさっそくカメラに収めようと写真を撮りだした。雷鳥は人馴れしているのか人が寄っても逃げる気配は感じられなかった。それからしばらくした後、雲行きがよくなる状態が続き、展望はあきらめて下山を始めた。登ってきた道をそのまま下っていった。3ピッチほどで長兵衛小屋に到着した。そして、テントを撤収して北沢峠のバス停に向かった。ちょうどタイミングよく13時発のバスがあったので、待たずしてそのバスに乗ることができた。ここからバスで仙流荘まで50分ほどで到着。ここで風呂に入ろうと予定していたが、たくさんの人が降りていたので混み合うと思い、帰る途中にある高遠の温泉に寄る事になった。そして、ここで汗を流して刈谷に向かった。 記 竹内

感想

全日程、天気は良かったが頂上では雲がわいていて景色はあまり見えなかった。はじめて登った山でもあり登る楽しみがあった。



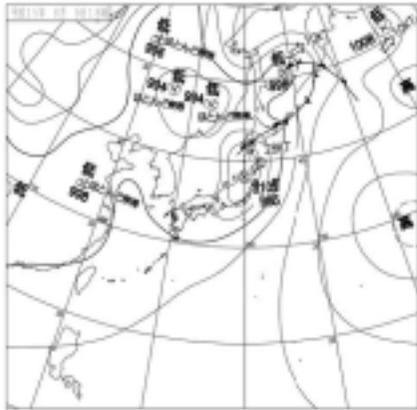
甲斐駒ヶ岳



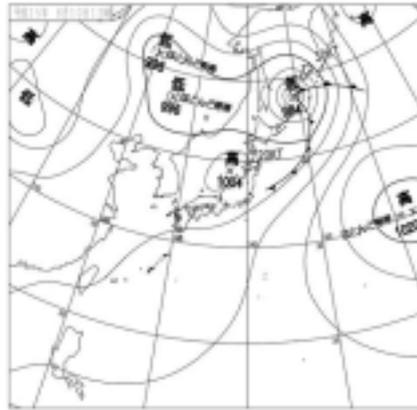
仙丈ヶ岳

【気象】

合宿初日の10日は台風10号の通過後であり、快晴に恵まれたが長続きせず、2日目の11日は前線の影響により、雲の多い天候であった。



(8/9) 刈谷 仙流荘
天候 雨 曇



(8/10) 北沢峠 甲斐駒ヶ岳
天候 晴



(8/11) 北沢峠 仙丈ヶ岳
天候 曇 晴

【会計】

収入		支出	
会費(4人)	40000	高速料金	9900
差入れ 板倉さん	5000	テント場代金	2000
差入れ 金子さん	5000	バス運賃	10400
		食費	10200
		小屋飲み物	3400
		入浴	2000
		ガソリン等	7600
		フィルム	800
合計	50000	合計	46300

金子さん、板倉さん差入れありがとうございました



小仙丈ヶ岳